

ISSN 0453-8889

MEMOIRS OF THE FACULTY OF AGRICULTURE
OF
KINKI UNIVERSITY

近畿大学農学部紀要

第44号

2011



近畿大学農学部

MEMOIRS OF THE FACULTY OF AGRICULTURE
OF KINKI UNIVERSITY

近畿大学農学部紀要

第44号 2011

目 次

原 著

鶏冠由来低分子ヒアルロン酸の化学組成とヒト肌への臨床試験による保湿効果 寺下隆夫, 白坂憲章, 楠田瑞穂, 若山祥夫	1
男子大学生の料理教室参加が食生活習慣に及ぼす影響 明神千穂, 秋山円香, 本土未望里, 村井吾郎, 川西正子	9
近畿大学奈良キャンパスにおける庭園木クロガネモチの分布..... 西野済, 桜谷保之	17
近畿大学奈良キャンパスにおける山菜の生育状況..... 大伴遥香, 桜谷保之	23
近畿大学奈良キャンパスの気象—地形と植生のもたらす影響— 荻野直人, 西野済, 古根川浩之, 高見佑, 原蘭芳信, 高見晋一	35
選択型コンジョイント分析による水田生物と環境保全型農法の経済的価値 佐野光大, 杉本真悟, 堀井裕一, 有路昌彦, 細谷和海	47
飼育下におけるタイワンキンギョの繁殖特性..... 北川哲郎, 森下匠, 根来央, 細谷和海	55
近畿大学農学部所蔵の内山りゅう魚類標本コレクション 武内啓明, 朝井俊亘, 内山りゅう, 細谷和海	63
近畿大学農学部所蔵標本からみた1970年代初頭の淀川赤川ワンド群の淡水魚類相 武内啓明, 山野ひとみ, 細谷和海, 久保喜計	89
東アフリカ半乾燥地における農耕-牧畜複合に関する史的考察 —タンザニアの大地溝帯 (Eastern Rift Valley) とその周辺を事例として— 鶴田格	97

ノ ー ト

寿命終末期のマウス脳内で特異的に発現している小分子 RNA
..... 田辺寛之, 河合美月, 末光良子, 服部涼, 竹内鮎美 115

カード型図鑑を用いた自然観察会の活動成果
一里山修復プロジェクトからの学びを形へー..... 錦一郎, 鳥居憲親, 桜谷保之 123

調 査

沖縄県で記録された蝶類及びシロアリ類..... 曾我部陽子, 板倉修司, 前潟光弘, 桜谷保之 131

沖縄県八重山諸島で記録された鱗翅目昆虫
..... 久光彩子, 曾我部陽子, 鳥居憲親, 桑原崇, 鈴木賀与,
山本裕太, 寺田早百合, 牛田博, 前潟光弘, 桜谷保之 139

沖縄県八重山諸島で記録された鳥類..... 鈴木賀与, 鳥居憲親, 桑原崇, 寺田早百合,
牛田博, 前潟光弘, 桜谷保之 151

沖縄県八重山諸島で記録された両生類・爬虫類..... 桑原崇, 曾我部陽子, 山本裕太, 鳥居憲親,
鈴木賀与, 前潟光弘, 桜谷保之 163

オーストラリアの農業と水市場を通じた水取引..... 八丁信正, 松野裕 171

MEMOIRS OF THE FACULTY OF AGRICULTURE
OF KINKI UNIVERSITY

Volume 44, 2011

CONTENTS

Original

Chemical composition of low-molecular weight hyaluronic acid from comb (chicken) and maintaining the moisture effect of skin by a clinical test Takao TERASHITA, Norifumi SHIRASAKA, Mizuho KUSUDA and Sachio WAKAYAMA	1
Influences on the eating habits of male university students taking cookery classes Chiho MYOJIN, Madoka AKIYAMA, Midori HONDO, Goro MURAI and Masako KAWANISHI	9
Distribution of a garden tree, round leaf holly, <i>Ilex rotunda</i> Thunberg, on the Nara Campus of Kinki University, central Japan Wataru NISHINO and Yasuyuki SAKURATANI	17
Edible wild plants and mushrooms on the Nara Campus of Kinki University Haruka OOTOMO and Yasuyuki SAKURATANI	23
Meteorological conditions of the Kinki University Nara Campus as influenced by its topography and vegetation Naoto OGINO, Wataru NISHINO, Hiroyuki KONEGAWA, Yu TAKAMI, Yoshinobu HARASONO and Shinichi TAKAMI	35
Economic value of aquatic organisms and conservation agriculture in rice fields : An approach by the conjoint analysis Kodai SANO, Shingo SUGIMOTO, Yuichi HORII, Masahiko ARIJI and Kazumi HOSOYA	47
Reproductive characteristics in captive Paradise fish <i>Macropodus opercularis</i> Tetsuro KITAGAWA, Takumi MORISHITA, Hiroshi NEGORO and Kazumi HOSOYA	55
Fish specimens of the Faculty of Agriculture, Kinki University collected by Ryu Uchiyama Hiroaki TAKEUCHI, Toshinobu ASAI, Ryu UCHIYAMA and Kazumi HOSOYA	63
Freshwater fish fauna of Akagawa Wando in Yodo River in the early 1970's inferred from the specimen collections preserved in the Faculty of Agriculture, Kinki University Hiroaki TAKEUCHI, Hitomi YAMANO, Kazumi HOSOYA and Yoshikazu KUBO	89

Agriculture-pastoralism complex in semi-arid areas in East Africa: A case of Eastern Rift Valley in North-central Tanzania	
Tadasu TSURUTA	97

Note

Small RNAs in mouse brain specifically expressed at the end-life stage	
Hiroyuki TANABE, Mitsuki KAWAI, Ryoko SUEMITSU, Ryo HATTORI and Ayumi TAKEUCHI	115

Application of card type picture book for nature observation activity of Satoyama Restoration Project	
Ichiro NISHIKI, Norichika TORII and Yasuyuki SAKURATANI	123

Survey

A record of the butterflies and termites observed in Okinawa prefecture	
Yoko SOKABE, Shuji ITAKURA, Mitsuhiro MAEGATA and Yasuyuki SAKURATANI.....	131

Report of biological research on Lepidoptera in Yaeyama Islands, Okinawa prefecture, Japan	
Ayako HISAMITSU, Yoko SOKABE, Norichika TORII, Takashi KUWABARA, Kayo SUZUKI, Yuta YAMAMOTO, Sayuri TERADA, Hiroshi USHIDA, Mitsuhiro MAEGATA and Yasuyuki SAKURATANI	139

Report of biological research on wild birds in Yaeyama Islands, Okinawa prefecture, Japan	
Kayo SUZUKI, Norichika TORII, Takashi KUWABARA, Sayuri TERADA, Hiroshi USHIDA, Mitsuhiro MAEGATA and Yasuyuki SAKURATANI	151

Report of biological research on amphibians and reptiles in Yaeyama islands, Okinawa, Japan	
Takashi KUWABARA, Yoko SOKABE, Yuta YAMAMOTO, Norichika TORII, Kayo SUZUKI, Mitsuhiro MAEGATA and Yasuyuki SAKURATANI.....	163

Australian agriculture and water trade through water market	
Nobumasa HATCHO and Yutaka MATSUNO.....	171

近畿大学農学部紀要投稿規定

(平成 17 年 7 月改正)

1. 報文の投稿者は、近畿大学農学部教員、大学院生（修了後 3 年以内）、学部学生（卒業後 3 年以内）とする。ただし、共著者には本学部の、技術員・研修員・研究員他を含むが、部外*の共著者が筆頭者となる報文の投稿については事前に紀要委員会の承認を得なければならない。また、大学院生・学部学生が投稿する場合には担当教員の承認を必要とする。
2. 報文は投稿者の原著、ノート、総説、総合論文、調査・資料とする。
3. 原著は、本規定ならびに原稿作成要領に従って作成されたものでなければならない。
4. 報文は、原則フロッピー入稿とする。
5. 報文は、各学科の紀要委員をへて紀要委員長に送付し、紀要委員会のもとに到着した日を受理の日とする。
6. 原稿はすべて編集会議において掲載の可否を審議する。
7. 編集会議において、そのまま掲載できないと判断されたものは、その理由をふして著者に返却し、訂正を求める。この場合は、訂正原稿が委員長のもとに到着した日を受理の日とする。
8. 紀要委員会は、編集会議の参考に資するため、投稿原稿の査読を学部の二名以上の教員に依頼する。
9. 報文の掲載の順序は、原則として受理日の順とするが、内容による区分等を必要とする場合など、すべて編集会議で決定する。
10. 報文の著者および共著者は、当該報文の著作権が近畿大学に帰属すること、および掲載された報文については冊子体以外の媒体で公開されることを承諾したうえで投稿する。
*附属農場、水産研究所、資源再生研究所は部内に準ずるものとする。

投稿に関する注意

1. 投稿の締切日は、9 月 30 日とする。
2. 投稿するときは、所定書式の投稿カードに必要事項を記入し、フロッピーディスクおよびその内容を打ち出した原稿とともに提出する。
3. 原稿は、図、表、写真、英文 synopsis を含め、すべて 3 部ずつ提出する。ただし、2 部は複写したものでも差し支えないが、重要な写真など写しが不鮮明になる場合は複写でない方が望ましい。
4. 英文原稿には、和文の表題、和文の姓名、およびおよそ 200 字の和文要旨を添える。また、和文原稿には、英文表題、ローマ字書きの姓名、およびおよそ 200 語の synopsis を添える。
5. 英文原稿の場合は、あらかじめ投稿前にネーティブの英文校閲を済ませたものでなければならない。未校閲の論文は受け付けない。
6. 字体は、投稿時に、必ず指定をしておく。
7. 校正は最終校を除き著者が行う。原則として、文章または図表の変更や追加をしてはならない。
8. 別刷は 50 部まで無料とする。これを超える部数とカラー図版の費用は原則として著者が負担するものとする。また、刷り上がり 16 ページ以上の報文についても、その超過ページ部分は原則として著者負担とする。

電子媒体投稿に関する注意

近畿大学農学部紀要の投稿に際して、FD（データを保存したフロッピーディスク）があっても字体の指定（大文字とかイタリック体とか）をしておかないと異なる字体に印刷されたり、本文と表などのフォントが異なるなどの問題が生じる場合があります。

紀要委員会では2008年度より論文の電子媒体（フロッピーディスクなど）による投稿には一定の基準を作製し、ソフトウェア・フォントを統一していただく事になりました。つきましてはご提出いただく原稿を下記の基準に準じて電子媒体でのデータをご提出お願いします。印刷および校正を潤滑かつ短時間で行うためにも下記の指示に準じた電子媒体の提出を御願い申し上げます。

- 1) 電子媒体はフロッピーディスク、CDもしくはMOとする。
- 2) ワードプロセッサソフトウェアは基本的に Microsoft Word（Windows または Macintosh）の version 2003 とする。
- 3) 本文は字体（フォント）は明朝体（MS 明朝体、細明朝体）（英文は Times New Roman）とし、太文字（ゴシック体）、イタリック体など他の字体を用いる場合には Hard copy（書面）論文に下線を引き字体を指定する。
- 4) 表についても字体（フォント）は明朝体（MS 明朝体、細明朝体）とし、太文字（ゴシック体）、イタリック体など他の字体を用いる場合には Hard copy（原稿紙）論文に下線を引き字体を指定する。
- 5) 図および写真も電子媒体で作製した場合にはソフトウェアは Microsoft Power Point または Adobe Photoshop とする。

近畿大学農学部紀要委員会

編集委員会

豊田 秀吉

川崎 賢一

田中 裕美

川西 正子

川崎 努

ジン・タナンゴナン

近畿大学農学部紀要 第44号

平成 23 年 3 月 20 日 印刷

平成 23 年 3 月 31 日 発行

発行人 宇都宮 直 樹

編集人 豊田 秀吉

発行所 近畿大学農学部
奈良市中町3327-204

印刷所 近畿大学 管理部 用度課 (出版印刷)
東大阪市小若江3丁目4番1号

